



# 2月新着本案内

瀬木学園図書館

今月紹介する本はすべて本館にあります。



## 『「世代」の正体』 長山靖生著

いつの時代も大人たちは「若者」を語りたがります。「まったく、今時の若者は…」大正青年から昭和一桁、戦後、団塊、バブルにゆとり、脱ゆとりまで若者を語る大人の視点からめぐる世代論です。(361.64/ナ)



## 『はなそうよ!恋とエッチ』

すぎむらなおみ+えすけん著

現役の養護教諭8人が作ったこどもたちに向けた性教育の本です。体や性のことを図解やエッセイで解説し、セクシュアル・マイノリティの人たちのインタビューも載っています。(367.99/ス)



## 『子どものころ』

櫻井茂男, 濱口佳和, 向井隆代著

現代に生きる子どもの姿を学べる、児童心理学の入門テキストです。子どもが抱えるころの問題についても詳しく書かれているので、今大人たちは何をすべきかが分かります。(371.45/サ)



## 『「就活」の社会史』 難波功士著

就職活動は多くの学生にとって難所です。「何で私たちだけが…」と歎きたくなるでしょうが、いつの時代も、日本の学生は悲喜こもごも「就活」を繰り返してきたのです。これを読んで、少しでも気が楽になりますように。(377.9/ナ)



## 『これだけ! iPS細胞』 夏緑著

もちろん、きいたことはあるけれど実はよく分からない、難しそう、今さらきけないiPS細胞のことはこの本で勉強してください。雑談たっぷりの軽い読み物なので、さくさく読めます。「これだけ!」シリーズは他にもあります。(491.11/ナ)



## 『「大人のアレルギー」は腸で治す』

藤田紘一郎著

ある日突然、アレルギーになる人が増えています。食生活を見直し、腸の体質改善をすることで発症してしまったアレルギーを治すことができます。諦めずに取り組むことが大切です。(493.14/フ)



## 『ソーシャルメディア中毒』 高橋暁子著

日本では421万人の人がネット依存の可能性があるとされています。SNSが普及した現代で、若者を中心に問題が後を絶ちません。なぜ、事件は頻発するのか、依存してしまうのか…危険性と不自由さを探ります。(493.74/タ)



## 『心身症の子どもたち』 田中英高著

不登校や保健室に通う小・中・高校生の7割は、体調不良をともなっているというデータがあります。この原因となる心身症について理解を深め、子どもたちに対応していく必要があります。(493.93/タ)



## 『あなたが変わる!「医療事務・介護の仕事」』

島内晴美著

医療事務や介護の仕事をする12人の女性が働き方教えてください。パート社員、短時間勤務、管理者など多様な働き方ですが、皆さんとても生き生きとしています。(498.16/シ)



## 『おうちではじめよう!漢方生活』

根本幸夫著

体のちょっとした不調、慢性的な不調を薬を使わずに治したいですね。それには漢方がおすすです。症状別のセルフケアが丁寧に紹介されています。(499.8/ネ)

☆お買い得食材deパワーレシピシリーズ☆1冊まるごと1つの食材レシピです。その日のお買い得の食材を見つけたらこの本で。

『キャベツ』(596.3/オ/1)

『豚肉』(596.3/オ/6)

『ぶり・たら』(596.3/オ/11)

『じゃがいも』(596.3/オ/2)

『豆腐』(596.3/オ/7)

『白菜』(596.3/オ/12)

『ピーマン・パプリカ・アスパラ』(596.3/オ/3)

『さんま・さば』(596.3/オ/8)

『れんこん・里いも』(596.3/オ/13)

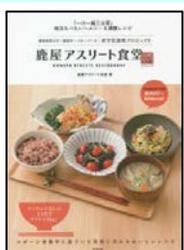
『なす』(596.3/オ/4)

『さけ』(596.3/オ/9)

『大根』(596.3/オ/14)

『トマト』(596.3/オ/5)

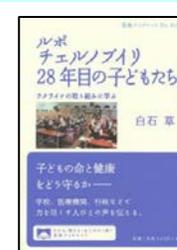
『きのこ』(596.3/オ/10)



## 『鹿屋アスリート食堂』

鹿屋アスリート食堂著

一汁一飯三主菜の食事を提案し、美と健康を作ろうとする「鹿屋アスリート食堂」を知っていますか?この食堂で人気のヘルシーメニューや満腹メニューなどのレシピが載っています。(596/カ)



## 『ルポチェルノブイリ28年目の子どもたち』

白石草著

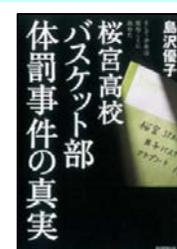
チェルノブイリ原発事故から28年が経つウクライナ。現在でも多くの子どもが白血病やがんなどの疾患を抱えています。事故の経験や、それに対する取り組みから何を学べるのか?(543.5/シ)



## 『アスリートのためのスポーツ栄養学』

柳沢香絵監修

何をどう食べるかで体は大きく変化します。この本では、競技別・世代別・目的別で紹介しています。スポーツ栄養学を学び、食事とスポーツとの関連性を意識しましょう。(780.19/ヤ)



## 『桜宮高校バスケット部体罰事件の真実』

島沢優子著

2013年に起きた部活顧問の体罰が原因で高校生が自殺した事件を覚えていますか?遺族と関係者への綿密な取材により見えてくる真実とは…事件の裏側に迫るルポルタージュです。(916/シ)